



説教要旨 「もっとも小さな者」

ルカによる福音書7章24～35節

西暦（キリスト教暦）はキリストの到来を基準（Anno Domini=主の年）として、この世界の歴史を二つ（紀元前と紀元以降）に分けています。

洗礼者ヨハネはイエス様以前、つまり旧約聖書の時代における最も偉大な者でした。しかしイエス様によって神の国の福音が告げ知らされている今、そこにおいて最も小さい者であってもヨハネより偉大なのです。それは、イエス様によってもたらされる神の国が、律法と預言者によって歩む旧い神の民イスラエルよりもはるかに素晴らしいものであることを語っている言葉です。つまりここには、今やイエス様によって新しい時代が、神の国の実現の時代が始まっていることが見つめられているのです。ヨハネは、旧い時代の最後に立って、新しい時代の到来を告げた預言者です。そのことの故に彼は旧い時代における最も偉大な者なのです。しかしイエス様によってもたらされている新しい時代、神の国においては、最も小さな者も彼よりは偉大なのです。

つまり、あなたがたは荒れ野へ行ってヨハネを見たことによって、預言者以上の者と出会い、その人によって、今や新しい時代が始まろうとしていることを、神の国の到来を告げるみ言葉を聞き、その新しい時代を迎えるための準備を与えられたのだ、というのです。そしてそれは私たちが、教会の礼拝において告げ知らされているみ言葉と重なります。私たちは教会の礼拝において、神様の愛が私たちに注がれており、主イエス・キリストの十字架と復活によって既に私たちの全ての罪が赦されていること、神の国、神様の恵みのご支配が既に決定的に始まっていること、私たちがよい行いをし、立派な人間になることによってではなく、救い主イエス・キリストによって、神の国に連なる者、新しい時代を生きる者されることを告げるみ言葉を聞いています。私たち自身が、神の国で最も小さな、しかし洗礼者ヨハネより偉大な者となることができるというみ言葉を聞いているのです。

（2018・10・14 説教者：稲垣真実）